

科目名	ソルフェージュⅠ	授業期間	通 年
担当教員	荒尾岳児 他 ソルフェージュ担当教員	科目 No.	CSL1120
受講対象	作曲「ポピュラー・インストゥルメンツコース」「ソングライティングコース」を除く全専攻 1年	単位数	2単位

目 標 ／ 概 要	<p>目標：読譜・聴取・楽曲の理解といった音楽の基礎能力を養い、自分の力で音楽を構築できる。 譜面を正確に理解するのみにとどまらず、それをいかに音楽的な表現に結び付けるかを考えることができる。</p> <p>概要：音楽史や作曲家の様式など音楽の具体例とのリンクを常に意識しつつ、聴音(2声・和声等)、視唱、読譜(リズム・クレ読み)を中心に、楽曲に対する正確な理解や、多面的で総合的なアプローチの方法を修得させるように指導する。授業内容はクラスの進度により前後する。</p>
-----------------	--

授 業 計 画	春 学 期						
	1	(水曜) クラス分け試験(新曲視唱)	(金曜) ガイダンス				
	2	(水曜) ガイダンス	(金曜) 楽器による初見視奏への導入				
	3	ルネサンス期の作品の視唱・アルト譜表の導入〜クレ読みとは					
	4	2声部の聴音の導入・拍子を振って表すことについて					
	5	バロック期の作品(ヴィヴァルディ)の視唱・アルト譜表—順次進行					
	6	2声部の聴音(#x1)・古典期の基本的なリズム					
	7	バロック期の作品(バッハ)の視唱・アルト譜表—3度					
	8	2声部の聴音(b x1)・4分音符の2分割・3分割・4分割					
	9	古典期の作品(モーツァルト)の視唱・アルト譜表—4度					
	10	4声体和声の聴音の導入・緩徐楽章のリズム					
	11	古典期の作品(ベートーヴェン)の視唱・アルト譜表—5度					
	12	4声体和声の聴音(#x1)・複合拍子のリズム					
	13	ロマン派の作品(ショパン)の視唱・アルト譜表—6度・1オクターヴ					
	14	4声体和声の聴音(b x1)・2拍3連					
	15	春学期のまとめ・クラス分け試験					
	秋 学 期						
	1	ロマン派の作品(ブラームス)の視唱・テノール譜表の導入					
	2	2声部の聴音(#x2)・速度の速い複合拍子					
	3	ロマン派の作品(サン・サーンス)の視唱・テノール譜表—順次進行					
	4	2声部の聴音(b x2)・シンコペーション					
	5	ロマン派の作品(グリーグ)の視唱・テノール譜表—3度					
	6	4声体和声の聴音(#x2)・ロマン派の舞曲のリズム					
	7	ロマン派の作品(フォーレ)の視唱・テノール譜表—4度					
	8	4声体和声の聴音(b x2)・L'istesso Tempoについて					
	9	マーラーの作品の視唱・テノール譜表—5度					
	10	2声部の聴音(調号の多いもの)・速度の変化を含むリズム・3拍4連					
	11	ドビュッシーの作品の視唱・テノール譜表—6度・1オクターヴ					
	12	4声体和声の聴音(調号の多いもの)・色々な楽器による聴音					
	13	R. シュトラウスの作品の視唱・アルト譜表・テノール譜表のまとめ					
14	学年末試験—聴音・リズム読み						
15	学年末試験—視唱・クレ読み						

準備学習の内容	指定の教科書等を事前に読み予習すること。授業における指導のポイントをノートし復習すること。					
履修上の注意	クラスはグレード別編成(年度初めのクラス分け試験の結果による)。 上級クラス…金曜2限、基礎クラス…水曜4限または5限、初級クラス…水曜と金曜の週2回 出席日数が授業回数の3分の2に満たない場合は単位は付与されない					
評価方法	試 験	課題(レポート含)	発 表	平常点	その他	合 計
	○			○	○	
	補 足	学年末試験による。				
教材等	全クラス共通教材「新・名曲視唱曲集(仮題)」音楽之友社 「リズム・スタディ」全音楽譜出版社 ISBN:978-4-11-712031-8 その他教員が用意する教材配付					